

4町行政に大きく貢献 組に表彰状

第38回 町表彰



左から、遠藤真由美さん、西村君江さん、谷口優佳子さん

今年度、まちの発展に大きく貢献された皆さんを表彰する、第38回町表彰式を、11月19日、役場庁舎で開きました。

今回受賞されたのは、日野中学校3年の谷口優佳子さん（黒坂）、本郷の松本勝美さん、下榎の西村槐さん・君江さん夫妻、別所の遠藤真由美さん・弘之さん夫妻の4組6人の皆さん。表彰式では、景山町長から表彰状と記念品が贈られました。

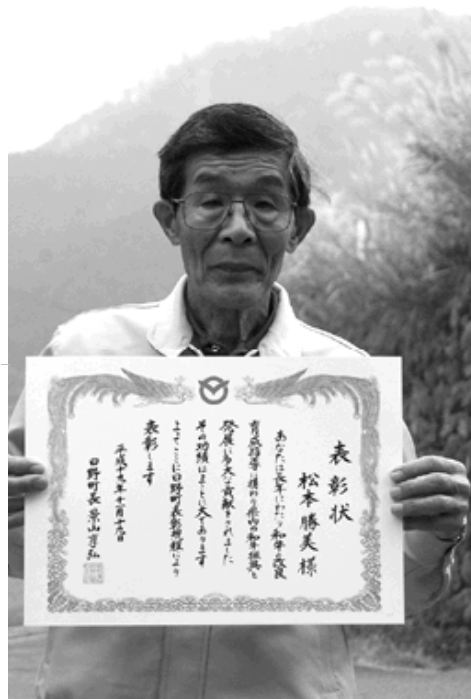
谷口さんは、今年3月に行われた都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会の女子団体戦で県代表として第3位に入賞し、まちのスポーツの普及・発展に寄与したことが認められました。

【受賞のことば】小学生のときからソフトテニスを始めました。今回の受賞はとてもうれしいです。これから受験

シーズンになります。勉強もテニスも頑張りたいです。

松本さんは、本町だけでなく県の和牛振興に尽力され、その結果として、10月の全国和牛能力共進会で本町からの出品牛が優秀な成績をおさめるなど、長年にわたる和牛改良への貢献が認められました。

【受賞のことば】今回の受賞は、仲間の代表としていただいたという気持ちです。苦しい時期もありましたが、共進会の結果をばねにしてまちの和牛振興に取り組みたいです。



松本勝美さん

西村さん、遠藤さん夫妻はともにも10月の全国和牛能力共進会において出品牛が優秀な成績をおさめたことが認められたものです。

【受賞のことば】（西村さん）受賞はともうれしいです。これからも夫婦支えあって和牛振興を頑張りたいです。（遠藤さん）今まで和牛を飼っていた甲斐があったと思っ

ています。これから家族が一つになって、しば系の和牛を飼っていきたくたいです。

あげ・こげ・じげじまん

第2回 三谷地区に伝わるもの・こと



郷土の歴史を研究している田淵さん

まちの北東部に位置する三谷地区。小さな集落ですが、言い伝え・伝説も多く、古くは松江藩との関わりもあつたようです。そんなお話を田淵武夫さん（三谷）に聞きました。

三谷地区と「三谷権太夫」について教えてください。三谷には上・中・下の3つの谷があり、それが地名の由来といわれていますが、もう一つ、三谷権太夫という人物が由来であるという説もあります。

三谷地区と「三谷権太夫」について教えてください。三谷には上・中・下の3つの谷があり、それが地名の由来といわれていますが、もう一つ、三谷権太夫という人物が由来であるという説もあります。

説は事実だったのではないかと考えています。権太夫の子孫は現在松江に住んでおられるようです。松江市内には三谷山という山もあり、関わりが大きさを物語っています。

古い言い伝えなどはありますか
子どものころ、明治6年生まれの祖母からいろいろ聞いていました。

祖母が若いころ聞いた話によると、当時、宝仏山の下谷に三谷地区の人が草刈りに行ったとき、山の斜面をころころと転がりながら降りてくる動物がいたそうです。その動物は頭が大きく急に胸が細くなっているビールびんのような形で、「ヤマシバ」と呼ばれていたとか。私は、これが以前話題になった「ツチノコ」なのではないかと考えます。

また、その体型から、小さな話を大きく話すほら吹きのことを「ヤマシバのような人だ」と言っていたそうです。面白い話ですね。



地区の伝統行事「へいはぎ祭り」

「へいはぎ」という行事が今も続いているとか
毎年11月末ごろに地区住民が寄り合って「へいはぎ祭り」を今も続けています。

これは、三谷に祀（まつ）られている荒神さんや秋葉さん（火の神様）などの神様に御幣（ごひぎ）をお供えするものです。当日は、当番の家に集まり、皆で竹製の小さな御幣を100本以上作った後、神事を行います。

その後、地区のあちこちにある神様のところに御幣を供えます。三谷権太夫さんの祠には五色の御幣を一本供えるな

らわしになっています。

三谷に住んで良かったことは
土地が狭く、田畑からも遠かったこの地になぜ昔の人が住み着いたのかを考えると、まず水が良いこと。次に地盤が固いことがあつたのではないでしょうが。鳥取県西部地震でも三谷では大きな被害はありませんでした。

三谷は坂が多いので、お年寄りも足腰が丈夫で元気な人が多いですよ。これも自慢の一つですね。

「じげじまん」を聞かせてください... 町教育委員会では、地域に伝わる伝承や風習、史跡、昔話、田植え唄などを話していただける人を募集しています。詳しくは町文化センター（電話 72 1300）までお問合せください。